

## 令和元年5月臨時会報告

市議会議員選挙後、新しく5人で令心会という会派を作り、今後は、積極的に政策提言や議会改革に取り組んでいきます。

新しい議員構成の下、初めての議会が令和元年5月22日（水）から27日（月）の6日間に臨時会として開会されました。今回の臨時会では、議長など議会構成などを決めるためと旧井筒屋宇部店購入のための負担金付き寄附の受納の件に関する議案などを審議しました。

私は、文教民生委員会の副委員長に、また宇部・阿知須公共下水道組合議会の議員に任命されました。

また、負担付きの寄附の受納の件について質問をいたしました。

今回の寄附は、宇部市にとって大変ありがたい申し出であると思います。市においては、全力で取り組んでいかなければいけないと思います。

寄付者の意向もにぎわいの創出に繋がる利活用に役立てるとともに宇部市民や宇部の商工業者にとって価値ある再開発事業を検討するよう寄附者の方々が要望をされていますが、問題解決のためには、問題点の把握が重要であろうと思います。どのような問題がありどのように解決していくかを尋ねました。明確な答えはありませんでしたが、私としては、駐車場問題や中心市街地の人口減、また人が集まる魅力的な施設は何かということであろうと考えています。

市としては、旧井筒屋宇部店の改修か新築（ディベロッパーを含む）かを今年11月中に結論を出すとしていますが、ちなみに改修には、1㎡10万円かかるとして現在の面積11,000㎡であり、設計等を含め約12億円かかり、新築では、3階建てとし、4,500㎡とすると20億円かかるとのことであったが、施設の内容が定まらなければどちらを選択するか決定できないのではないかと、具体的に事業内容を詰めなければならないと指摘し、多くの市民を巻き込んで、一緒に議論を進めて行くことを要望し終わりました。

この問題は、中心市街地のにぎわいを創るということで、市民の皆様のご協力なしには事業が成り立ちません。知恵を出し合い、大いに議論しながらいい事業を考えていきましょう。